科目名	実践防災学（防災士養成講座）　Seminars for Disaster Prevention Experts						
科目担当者	田中 保通　TANAKA Yasumichi						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義・実習	開講学期	集中
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　進路支援科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(2)(4)
授業の概要	我が国では自然災害が頻発しており、今後、南海トラフ地震などの大規模災害の発生が懸念される中、まずは自分の身を守るため、さらには地域での共助のために、防災・減災に関する知識と技能を身に付けることが重要です。また、そのスキルは、様々な業界において必要とされており、卒業後の就職先においても役に立ちます。 このため、防災士の資格が取得できる防災士養成講座を集中講義方式で実施します。 専門機関の講師が地震、風水害、土砂災害、災害ボランティア等に関する講義を行うほか、避難所開設運営訓練や救急救命講習を盛り込んだ実践的な内容で実施します。 なお、対面講義のない講目については履修レポートにより指導します。						
授業の到達目標	①　防災・減災に関する知識と技能を身に付ける。 ②　防災士の資格を取得する。（当科目を受講した上で、日本防災士機構による試験に合格し、所定の手続きを行った場合に、防災士の資格が取得できます。）						

授業計画・内容		
	1	イントロダクション／地震・津波による災害／耐震診断と補強（レポート）
	2	土砂災害／ライフライン・交通インフラの確保（レポート）
	3	気象災害・風水害／近年の主な自然災害（レポート）
	4	災害関連情報と予報・警報／災害情報の活用と発信（レポート）
	5	火山災害／広域・大規模災害（レポート）
	6	行政の災害対策と危機管理／行政の災害救助・応急対策（レポート）
	7	災害ボランティア活動／復旧・復興と被災者支援（レポート）／被害想定・ハザードマップ（レポート）
	8	自主防災活動と地区防災計画／災害と損害保険（レポート）／企業・団体の事業継続（レポート）
	9	災害医療とこころのケア
	10	救急救命講習
	11	地震・津波への備え
	12	風水害・土砂災害への備え
	13	防災士に期待される活動
	14	避難所の設置と運営協力（避難所開設運営訓練）
	15	地域防災と多様性への配慮／防災士が行う各種訓練（避難所開設運営訓練）
		防災士資格取得試験

授業外学修 (事前学修)	毎回、防災士教本の該当箇所を予習しておく（毎回 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容について整理し、不明な箇所は確認し理解しておく（毎回 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	授業参加姿勢（講義及び実習） レポート	40% 60%	①、② ①、②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	『防災士教本（2025 年度版）』認定特定非営利活動法人　日本防災士機構
参考文献	なし
その他	２年次以上も受講が可能です。 防災士の資格取得には受験料及び登録料が必要です（補助制度がある市町村があります）。